



保護者の皆様、大変お世話になりました

29年度も、本日修了式を無事終えました。1年生から5年生の児童一人一人は立派な態度で修了式に臨み、教室で担任より修了証を受けました。

今年度、保護者の皆様には、PTA活動、そして朝の交通指導等のご協力をいただき、大変感謝申し上げます。学校の教育活動は、保護者の皆様のご理解ご協力があればこそ成り立つものと日々感じながら、教育活動を進めてきました。



家庭や地域の宝である子供を預かる学校として、児童一人一人を伸ばすことと同時に、社会の一員として成長させることが学校の役割と考えています。「挨拶する」「ルールを守る」「他者とのより良い関係を築く」など、児童に身に付けさせていきたいことです。

来年度も、職員一同子供たちのために頑張りたいと思いますので、本校へのご支援ご協力につきまして、よろしくお願いいたします。

本日の修了式で話した校長の言葉（一部）

※「桜守」を紹介した後、全校児童に伝えた内容です。

これまで皆さんは、物事がうまくいかなかったりしたとき、悩んだり、苦しんだりしたこともあったと思います。実は、そのようなときでも、皆さんは、独りぼっちではなかったのです。皆さんの周りには、そっと見守ってくださったお父さん、お母さん、家族の皆さん、先生方がいたのです。皆さんを応援してくれていたのです。

皆さんは、間もなく次の学年に進み、新しい学校生活が始まります。とても楽しみにしている新学年です。でも、何かにつまずいたり、壁にぶつかって悩んでしまうこともあるかもしれません。それは、桜に例えると、花が咲かなくなってしまう時期と言えます。

しかし、皆さんは、どんなときも、必ずよみがえることができるのです。なぜなら、皆さんには、皆さんを支え、応援してくれる先生方、家族の皆さん、友達がいるからです。まさに、それらの人たちは、皆さんにとって「桜守」の存在なのです。

桜が、満開に咲くように、これから皆さんは、未来に向かって精一杯頑張ってくださいと思います。どんなときでも、皆さんの「桜守」は、皆さんを見守っています。



修了式の中では、代表の1年生が、1年間で頑張ったことや、2年生になったら頑張りたいことについて、作文を読んで発表しました。

加藤さんは、「これからも良いことを続けていきたい」、高柳君は、「持久走で1位になる」と、意気込みを立派に発表してくれました。

この二人だけでなく、誰もが新学年に向けての目標をしっかりとって4月を迎えてほしいと思います。神明小っ子、頑張れ！！

6年間の思い出を胸に、希望をもって、 巣立っていった6年生の皆さん



※写真は、15日（金）の全体練習より

卒業式が23日（金）に終了しました。卒業生一人一人は主役として、立派な姿と堂々とした態度で卒業式に臨み、本校を巣立っていきました。卒業生を支える在校生の心のもった演出もあり、とても感動的な心に残る卒業式となりました。

これまで、下級生をリードし、本校の教育活動を支えてくれた6年生は、義務教育の前期6年間で、小学校の学習内容の習得だけでなく、周りの人への思いやりや感謝の心、多少の困難にもくじけないうましさ等を身に付けられたことと思います。

4月からは、義務教育後期3年間の中学生となります。中学校では、学習内容も難しくなり、主体的な学びが大事になってきます。また、部活動も始まり、心身共に鍛える場にどっぷりつかる生活が始まります。そのような3年間で、自分を律し、周囲の人たちに気配りでき社会に役立つ人間となる基礎を培い、知・徳・体の調和の取れた人間になるようさらに成長してほしいと思います。

これからの前途に希望をもって、大きく羽ばたけ！！ 益々の活躍を願っています。



在校生も卒業式に向けて清掃活動 3/16(金)



< 1年生による校舎前清掃 >



< 2年生による裏庭清掃 >



< 3年生による体育館1階窓 >



< 4年生による集中玄関清掃 >



< 5年生による体育館内清掃 >

これまでお世話になった6年生が気持ちよく卒業できるように、在校生が体育館周辺や中央玄関をきれいに清掃してくれました。

おかげで、気持ちよく卒業式を迎えられました。在校生の皆さん、ありがとう。